

2021年度企画展

近代日本の 学校体育と 運動会

同時開催
特別展示
新収蔵アイコン展

2021年

10/25 (月) ▶ 1/16 (日)

2022年

- ◆ 時 間 10:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
- ◆ 入館無料 (事前予約制※)
- ◆ 休館日 11/17 (水)、18 (木)、土日祝日及び年末年始 (12/25 ~ 1/4)
ただし、以下の日にちは開館します。
11/3 (祝)、13 (土)、23 (祝)、12/11 (土)、1/15 (土)、16 (日)
- ◆ 協 力 玉川大学教育・学術情報図書館

※入館の事前予約フォームはこちら⇒



近代日本の学校体育と運動会

事前予約制

2021年

10/25 (月)

2022年

1/16 (日)

日本における学校体育は、明治5（1872）年に頒布された「学制」のなかで、下等小学の科目として「体術」が示されたことに始まります。その翌年に「体術」は「体操」と改称し、やがて学校教育のなかで本格的に取り入れられるようになりました。明治11（1878）年には、文部省が体操伝習所を設立して体操指導法が教授され、明治政府が主導した欧米型の体育教育は、武道や娯楽を中心としたそれまでの日本の運動法を大きく変えていきました。展示では体育教育関係の指導書や教科書、棍棒、垂鈴、球竿といった教具、体操や運動会が描かれた書籍、掛図、錦絵などの資料から、時代ごとの変遷や特徴をご紹介します。

運動会の開催もまた、近代日本の学校教育の特徴です。小学校で行われるようになったのは、明治10年代後半からになります。当時の運動会は、数校が近隣の広い場所に集まり、連合形式で行われていました。その後、明治30年代に体操場の設置が義務づけられると単独の運動会が普及し、しだいに祭りと同じような祭典的催しとなっていきました。

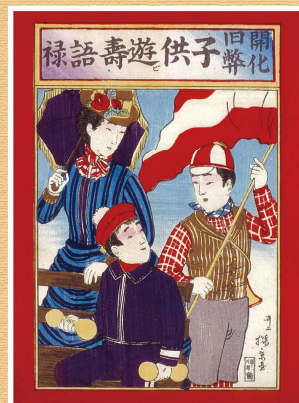
こうした明治期の学校体育関係の資料に加えて、大正・昭和前期の学校教育の流れとともに玉川学園などが導入し普及に努めたデンマーク体操についても、あわせて展示します。



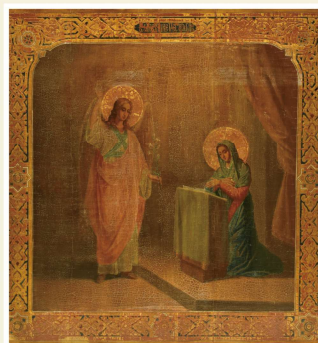
『学校体操運動図』歌川国利（画）明治19（1886）



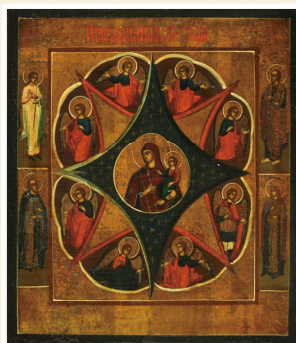
『小学体操の図』矢沢久吉（画）明治20（1887）



『開化旧弊子供遊戯壽語録』井上探景（画）明治31（1898）



『受胎告知』ロシア・アイコン



『燃えさるイバラの中の聖母』ロシア・アイコン



『聖ゲオルギウス』ロシア・アイコン

同時開催

新収蔵アイコン展

近年寄贈を受けたアイコン（聖像画）をご紹介します。ロシア・アイコン、ブルガリア・アイコンなどの聖なる世界をお楽しみ下さい。

【入館方法（事前予約）のご案内】

- 入館は、日時を指定した事前予約制としております。
- 入館のご予約は、右側の QR コードを読み取り、予約サイトにお進みください。
- 複数名での入館予約は出来かねます。ご来館されるお一人様ごとの入力をお願いします。
- ご予約がない方の入館はお断りします。
- ご予約後、ご都合によりキャンセルされる場合は、必ずお電話またはメールにてご連絡ください。
- ご予約の際は、予約サイト内に記載している「ご来館に際してのお願い」および「ご見学時の注意事項」を必ずお読みいただき、ご了承いただいたうえで申し込みください。



玉川大学教育博物館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止・予防への対策を徹底するよう努めております。ご不便をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



※駐車場、エレベーターはございません。

玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1 小田急線「玉川学園前」駅下車 南口より徒歩15分
電話 042-739-8656 Eメール museum@tamagawa.ac.jp ホームページ www.tamagawa.jp